

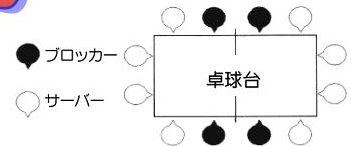
# 障害のある人々のために考案されたスポーツが ユニバーサルスポーツとして、障害のない人々に 今 人気急上昇中！

それは ……

## 卓球バレー

《ゲーム方法は簡単です》

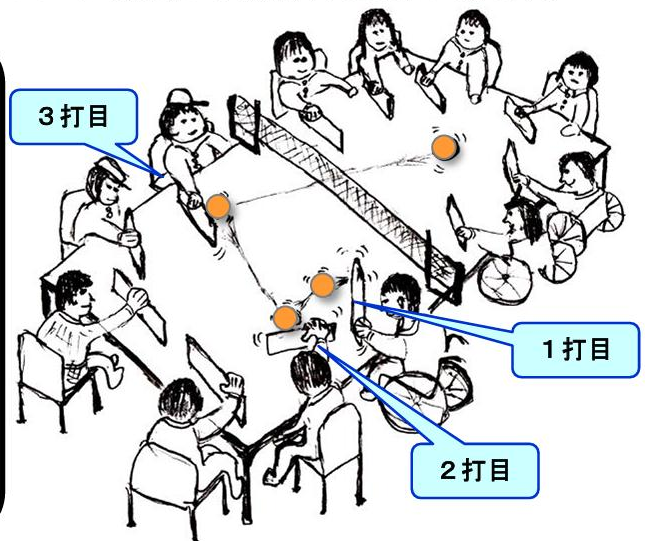
卓球台を使って、ルールはバレーボールに似ているところから、「卓球バレー」と名付けられました。



- ① 1チーム6人×2チーム=12人が卓球台の周りにイスを置いて座ります。
- ② サーブは、4人のサーバーが順番に打ちます。
- ③ 木のラケットを持って、金属球4個入ったピンポン球を打って転がし、ネットの下をくぐらせて、相手コートに3打以内で返します。
- ④ 1セット15点。14対14になったらデュース(先に2点取った方が勝ち)。

### 《卓球バレーの特徴》

- ① 卓球台が1台あれば、広い場所を使わなくても、多くの人数で楽しめます。(卓球台1台で12人)
- ② イスに座ったままでできます。
- ③ 障害のある人もない人も、また障害の種類・程度が違う人たち、そして幼い子どもから高齢者までが、一緒にゲームとして、また競技として取り組むことができます。



### 《卓球バレーの始まり》

京都市右京区に、車イスで生活している子どもたちが通う鳴滝支援学校があります。この学校では、筋ジストロフィー症という病気のため、歩けないだけでなく、腕や指を動かすことにも不自由する子どもたちが、車イスで生活をし、学んでいます。今からおよそ40年ほど前、卓球台に生徒が集まって、ピン球を転がして遊んでいました。これを見ていた学校の先生が、ただ単にピン球を転がして遊ぶだけではなく、「ルールを決めてゲームにしよう」ということになり、それが卓球バレーの始まりとなりました。車イスの生活で、腕や指を動かすことにも苦労している子供たちに、「何かスポーツをさせてやりたい、スポーツの楽しさを伝えたい」。そういう学校の先生の願いから、この『卓球バレー』が誕生しました。